

地域に尽くす政治

7つの
重点施策

わたしのミッションは、皆さんに幸せを運び、生活を豊かにすることです。地域の枠、産業の枠を超えて、地域経済という大局的なフィールドで課題を捉え、活力の向上を図ります。そのために、地域から幅広く情報を収集し、それらを冷静に分析し、前例や慣習にとらわれない、時代に先駆ける政策の立案、実現に向け、官民の各領域を超えて縦横無尽に活動していきます。

MISSION 1 魅力が輝き交流が盛んな地域づくり

北陸新幹線金沢開業をはじめとした陸・海・空の交通網の整備により、観光客はもとより、金沢港のコンテナ取扱量が年々増加するなど、人やものの交流は大きく拡大しました。本県の魅力を一層磨き、その輝く魅力を発信し、これまで以上に交流が盛んな地域を目指します。

- ◎北陸新幹線の早期全線整備と開業効果の持続・発展
- ◎さらなる誘客促進と石川ファンの拡大
- ◎人・ものの広域な交流のための基盤整備と活用

MISSION 2 成長する農林水産業と農山漁村づくり

今後、一次産業の担い手不足や高齢化に加え、人口減少に伴う国内市場の縮小が見込まれることなどから、農林水産業への影響が懸念されます。このため、担い手の確保や経営基盤の強化に向けた施策を推進し、里山里海での生業づくりを進め、活性化を図っていきます。

- ◎農林水産業の収益性の向上と生産・販路の拡大
- ◎地域の強みを活かした里山里海の振興
- ◎森林資源の利活用と林業の活性化 ◎鳥獣被害対策の強化

MISSION 3 安全・安心と豊かな里山里海に包まれる環境づくり

近年、地球温暖化の進行による異常気象や、東日本大震災など大規模な自然災害が日本各地で多発しているほか、高度経済成長期に整備されたインフラの老朽化が進行しており、安全・安心の確保に取り組めます。

- ◎官民一体となった災害に強い県土づくり
- ◎必要な医療がしっかりと提供される地域社会づくり

MISSION 4 少子高齢化を見据えた希望と安心の社会づくり

人口減少、特に少子化に歯止めをかけるには、合計特殊出生率の向上が不可欠です。これまで子育て支援先進県として取り組んできた様々な施策をさらに拡充・深化させることが必要あり、安心して子どもを産み育てていくことができるよう、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行います。

- ◎ライフステージに応じたきめ細かな少子化対策の充実
- ◎団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けた高齢者対策の強化

MISSION 5 未来を拓く心豊かな人づくり

社会全体が急速に変化している中において、本県の将来を支える子どもたち一人ひとりの、確かな学力はもとより、社会の変化に対応できる資質・能力を育成します。また、ふるさとに対する誇りと愛着を礎に、地域の活性化に貢献できる人材を育成します。

MISSION 6 みんなで支えるやすらぎと絆の社会づくり

東日本大震災を契機に、地域での付き合いや人と人の絆が地域社会の安全・安心の実現に果たす役割として再認識されるようになりました。地域の暮らしを支える相互理解や助け合いを充実する取り組みを推進します。

MISSION 7 人を惹きつける生涯居住の地域づくり

人口減少対策として、石川に人を呼び込む必要があります。このため、魅力ある雇用の場を生み出すとともに、学生のUターン・県内就職を促進します。また、充実した交流・生活基盤にさらに磨きをかけ、一生暮らす移住・定住先として選ばれる地域づくりを推進します。

縦

横山隆也 通信

よこやま たかや

石川県議会議員 横山隆也 活動報告 vol.4

無
尽



どんなことでも、
地域のために
尽くします。

地域の発展に全力疾走。



平成30年2月 一般質問

ごあいさつ

謹啓

春分の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より私の政治活動に対し、深いご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。本年も力の限り県政のために尽くします。

さて、今年も平成最後の年であり、5月には新元号に改元されます。天皇陛下が御退位され、皇太子殿下が新天皇に御即位されるのは200年ぶりのことです。この時流に乗り遅れないよう、石川県の経済成長を支え、地域の活性化を目指します。

北陸新幹線は開業5年目を迎え、利用者数は好調を維持しているようです。今後は、4年後に敦賀延伸が予定されており、金沢開業に続く「第2のチャンス」として、石川県に絶好の追い風が吹くことと見られます。その日に向けて準備を進めていき、5年前の気持ちに立ち返って、おぼろげな心を育てていきます。

ところで、いしかわ動物園が開園20周年を記念し、リニューアル整備を行います。フクロウ舎をガラス化するほか、カンガルー舎は餌やり体験ができるようになります。ライチョウの公開展示はすでに開始しておりますので、ぜひ足をお運びください。

昨年、白山開山1300年という節目の年を迎えました。このような幸せな瞬間を皆様と共有できたことに感謝しています。白山市は、2005年に1市2町5村が合併して誕生しました。はるかなる白山からは、雪解け水が手取川となり、大地を潤してきました。人々の生活に根づいてきた白山を心のよりどころとして、これまで以上に白山市の結束を強めていきたいと思います。

末筆ではございますが、皆様方のご健康とご多幸を心より申し上げます。

平成31年3月吉日

横山隆也 謹白

発行所 横山隆也事務所

〒920-2373 石川県白山市河合町甲21番地

TEL.076-254-2820 FAX.076-254-2821
AM10:00~PM4:00(土日祝はお休みです)

公式ホームページ <http://www.yokoyamatakaya.com/>

Facebook やってます! **【縦横無尽】** じゅうおう・むしん 何事にもとらわれず、あらゆる方面で物事を思う存分にすること。また、そのさま。

お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください



ふるさと石川の伸びゆく未来に尽力



さまざまな視点から一般質問しました!

平成31年2月議会にて

道路の安全対策について

質問

災害に強い道路を目指して 安全で安心な交通環境の整備を

国道157号は、災害に強い道路を目指して法面対策や2.5車線の道路整備に取り組んでおり、現在の進捗状況と今後の予定を聞く。また、県道松任美川線の西米光交差点は、道路の見通しが悪く、交通事故も発生していることから、安全で安心な交差点に改良することが課題だと考えているが、どのような方針で整備を進めるのか。

答弁

国道157号での落石対策は23カ所で工事を終え、新年度に白山市白峰は完了、同市佐良では着工を予定し、2.5車線の道路整備事業は4カ所目を着工する。西米光交差点は、新年度に歩行者の待機スペースを確保し、車道と歩道を区分する緑石や視線誘導標を設置する。

道路の安全対策十分か
横山隆也氏 (自民)

〈国道157号整備を進め、住民の安全確保を〉
板屋土部部長 落石対策が必要なのは、当面23カ所での工事が完了した。新年度は白山市佐良で着工する。2.5車線化は3カ所目完成し、4カ所目に着手する。路肩拡幅も進め、(国道157号)整備を進め、住民の安全確保を。落石対策は必要なのは、当面23カ所での工事が完了した。新年度は白山市佐良で着工する。2.5車線化は3カ所目完成し、4カ所目に着手する。路肩拡幅も進め、(国道157号)整備を進め、住民の安全確保を。落石対策は必要なのは、当面23カ所での工事が完了した。新年度は白山市佐良で着工する。2.5車線化は3カ所目完成し、4カ所目に着手する。路肩拡幅も進め、(国道157号)整備を進め、住民の安全確保を。

土部部長 国道、県道で工事推進

私の意見

道路を整備することは、豊かな社会を築く上での基本です。特に、土砂災害の発生を防ぐ法面工事は、道路の分断を回避するという点で重要です。また、利用者が多い西米光交差点は、生活に直結していることから整備を急ぐ必要があります。

いしかわスポーツマイルージ事業について

質問

「する」「みる」「ささえる」 スポーツ人口の拡大に期待

この事業は、「する」「みる」「ささえる」をスポーツ活動と捉え、スポーツ人口やその野の拡大につながるのと期待している。スマートフォン専用アプリにポイントを付与するようだが、どのような活動にどれだけのポイントを付与するのか。また、抽選で特産品が当たるためのポイントはどれだけあればいいのか。

答弁

100歩につき1ポイントを付与する。スポーツイベントの参加や試合の観戦には1回100ポイントを贈る。1等「能登牛」(15000ポイント)、2等「ルビーロマン」(10000ポイント)、3等「ひやくまん穀」(6000ポイント)のほか、協賛企業による景品も用意する。

スポーツ参加で能登牛ゲット
県、15日からアプリ配信

表正人県民文化スポーツ部長は、15日からスマートフォンアプリを配信する「いしかわスポーツマイルージ事業」について、ウォーキングやスポーツ観戦など「する」を促すため、1等の「能登牛」の抽選に当たるよう説明した。横山氏に答えた。

この事業はアプリを使って歩数を計測し、1日1万歩を上限に100歩につき1歩を付与する。スポーツ観戦やウォーキングの参加には1回100歩を贈る。獲得ポイントに応じて抽選に参加でき、1等の能登牛は5人を、2等は「ルビーロマン」10人、3等は「ひやくまん穀」20人、4等は6千歩、5等は3千歩で応募できる。来年3月でいったん締め切る。

県は飲料メーカーやコンビニエンスストアなどと連携したキャンペーンも実施する。第1弾は春を定し、5日間連続で千歩を達成した先着500人に大塚製薬(東野)の飲料をファミリーマート各店で配布する。

私の意見

スポーツ振興につながる事業として期待をしています。成功に導くには、参加者が積極的にポイントをとるためになる仕掛けが必要です。飲料メーカーやコンビニエンスストアと連携したキャンペーンも実施するようですが、物に頼らないアイデアも期待します。



横山隆也 これまでの活動報告

Uターン就職について

北陸新幹線開業をてこに 学生をふるさとに呼び戻す

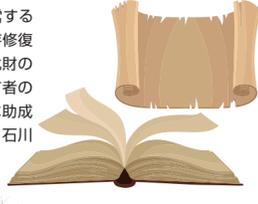
就職する石川県出身の学生のUターンを促すため、関東や関西の大学との提携が進んでいます。また、北陸新幹線金沢開業は、Uターン就職の後押しとなりました。アピールも大切ですが、学生が戻ろうと思った時に魅力のある就職先があれば選んでもらえませんので、企業とのマッチングにも取り組みます。



文化財の修復について

指定文化財所有者の支援拡充 修復工房の利用時に助成

県文化財保存修復工房は、自治体が運営する国内唯一の修復施設です。「県文化財保存修復事業助成制度」を利用すれば、県指定文化財の修復事業(修理費200万円)の場合、所有者の負担額は25万円が済みます。このような助成制度で、県内の指定文化財の修復を促し、石川の文化財を守っていきます。



松林の再生について

松林を守るために「根上方式」採用 県との連携で景観保全

松枯れが目立っていた白山市の松任海浜公園と手取公園では、クロマツの苗木と炭と一緒に植える「根上方式」を採用し、白山海岸の松林保全・再生に取り組んでいます。松食い虫の被害は深刻となっていたことから、県と市が連携して抵抗性クロマツの植林を始めるなど、白砂青松の復活が進んでいます。



移住対策について

Uターンや移住に向けた取り組み強化 人口減の解消に希望者をサポート

ワンストップ窓口として、金沢に「いしかわ就職・移住総合サポートセンター」、東京に「いしかわ移住Uターン相談センター」を設置し、職業を中心した相談を受け付けることで、窓口として定着しました。Uターン就職の希望者には、体験感覚で働いてもらう「トライアル制度」も充実させています。



土砂災害対策等について

土石流対策の整備が順調 平成31年度に完了へ

病院や福祉施設などの要配慮者利用施設がある土砂災害警戒区域については、甚大な土石流の被害が想定される場所から工事を開始しました。平成30年度には重点箇所38カ所のうち29カ所で砂防堰堤の整備が完了しています。また、残る9カ所も工事に着手しており、平成31年度中には完成する予定となっています。



鳥獣被害対策について

捕獲おりや防護柵の設置を 農作物の被害を最小限に

イノシシやニホンジカ、ニホンザルなど野生鳥獣による農作物の被害が深刻です。平成28年度の石川県内の被害額は9295万円でした。イノシシの被害が90%近くを占めており、農家に対して捕獲おりや防護柵の設置を積極的に支援することで、被害軽減の一定の成果が出ています。今後も県にサポートを働きかけます。



小松白川連絡道路について

悲願の小松白川連絡道路開通へ 一致団結して国に働き掛け

国道360号(白川-小松間)の事業は、加賀、白山麓と飛騨地域を結ぶ広域観光圏の形成などの効果が期待されています。開通には、県境部に長大なトンネル工事が欠かせず、国直轄の事業に採択される必要があります。そのため、石川、岐阜両県が連携して期成同盟会を結成し、粘り強く国に働きかけています。



除雪体制の維持について

暖冬だと安心せずに 大雪に備えた除雪体制を

近年の暖冬の影響で市町の除雪費が大幅に抑えられています。そのため、除雪を担う建設業者は、機械を維持する固定経費に苦労しているのが現状で、機械の保有台数は横ばいです。平成30年の大雪では交通網が大いに混乱した経験からも、安定した除雪体制の維持は欠かせないと考えています。



生活の基盤を整える。

飛躍

ふるさとの発展へ
情熱を注ぐ。

さまざまなところに出向いている方と
出会いました!

交流

国内外のネットワークを
広げる。

防災

災害から
人命と財産を守る。

**いつでも、どこでも。
足を運んで確かめ、
交流します。**

福祉・活性

生き生きとした人生を
実現する。

教育

次代を担う子供たちを
育てる。

誰でも「豊かな生活をしたい」と望んでいます。その希望を実現するのが、行政が整備するハードとソフトの社会基盤です。地域に欠かせない施設を建てたり、地域おこしの活動を後押ししたりすることで、より良いふるさとへ躍進する一助となります。

グローバル化が進む現代は、さまざまな世代・分野・文化を超えた交流が欠かせません。持ち前の行動力を生かして国内外を訪れ、石川県が交流の輪を広げていくための一翼を担っていきます。

県民を災害から守るのは、行政の義務だと言えます。万が一に備えて防災計画を立て、インフラの整備に取り組んでいます。また、県民の防災意識の啓蒙にも積極的です。

日本の子供の数は、減少の一途をたどっています。これからの日本を担う子供たちは宝であり、石川県は子育て支援先進県として、妊娠・出産・子育てなど厚いサービスを展開しています。継続的な地域社会を形成していく上で、「将来世代の人材育成」は欠かせないものであり、その課題にも取り組んでいきます。

安心して暮らせる環境を整えます。また、地域社会のつながりは、人生を豊かにしてくれます。希薄になったコミュニティを再生し、お互いに助け合う心を養います。

その他の活動写真は「[横山たかや事務所 Facebook](https://www.facebook.com/yokoyama.takaya.office/)」でもご覧いただけます!
<https://www.facebook.com/yokoyama.takaya.office/> 右のQRコードからもアクセスできます!



移住相談 大阪に拠点

県が | LAC、3カ所目
進学多く、伸びしろ期待
大阪府に「移住相談」の拠点を設ける。LAC（生活者支援センター）の3カ所目として、大阪府に拠点を設ける。進学が多く、伸びしろが期待される。移住相談の拠点として、大阪府に「移住相談」の拠点を設ける。LAC（生活者支援センター）の3カ所目として、大阪府に拠点を設ける。進学が多く、伸びしろが期待される。

白山ブランドここにあり

県内26の所産品の販売
白山ブランドの魅力を伝える。県内26の所産品の販売。白山ブランドの魅力を伝える。県内26の所産品の販売。白山ブランドの魅力を伝える。県内26の所産品の販売。白山ブランドの魅力を伝える。

東京五輪 パラの旗

県到着 19市町巡回へ
東京五輪の旗を手に、県内19市町を巡回する。東京五輪の旗を手に、県内19市町を巡回する。東京五輪の旗を手に、県内19市町を巡回する。東京五輪の旗を手に、県内19市町を巡回する。

石川県が防災啓発

商業施設と連携へ
県民の防災意識を高める。商業施設と連携し、県民の防災意識を高める。商業施設と連携し、県民の防災意識を高める。商業施設と連携し、県民の防災意識を高める。

岐阜・長野両県へ視察研修

県議会が視察団を派遣
防災対策の視察と研修を行う。岐阜・長野両県へ視察研修を行う。県議会が視察団を派遣。防災対策の視察と研修を行う。岐阜・長野両県へ視察研修を行う。県議会が視察団を派遣。防災対策の視察と研修を行う。

70周年

白山・鳥越中
創立70周年を記念して、様々なイベントを開催する。白山・鳥越中。創立70周年を記念して、様々なイベントを開催する。白山・鳥越中。創立70周年を記念して、様々なイベントを開催する。

社会福祉法人

福祉事業を推進
高齢者の生活支援に力を入れる。社会福祉法人。福祉事業を推進。高齢者の生活支援に力を入れる。社会福祉法人。福祉事業を推進。高齢者の生活支援に力を入れる。

祝 白山市成人式

次代を担う子供たちを育てる。祝 白山市成人式。次代を担う子供たちを育てる。祝 白山市成人式。次代を担う子供たちを育てる。

防災

災害から人命と財産を守る。防災。災害から人命と財産を守る。防災。災害から人命と財産を守る。防災。災害から人命と財産を守る。